

末松九機株式会社 本社



外観

福岡市博多区に本社を置く技術商社「末松九機株式会社」は、2023（令和5）年にショールームやテストルームなどを備えた新社屋を竣工。環境に配慮し、九州でも先駆的なNearlyZEBの基準を満たしている。



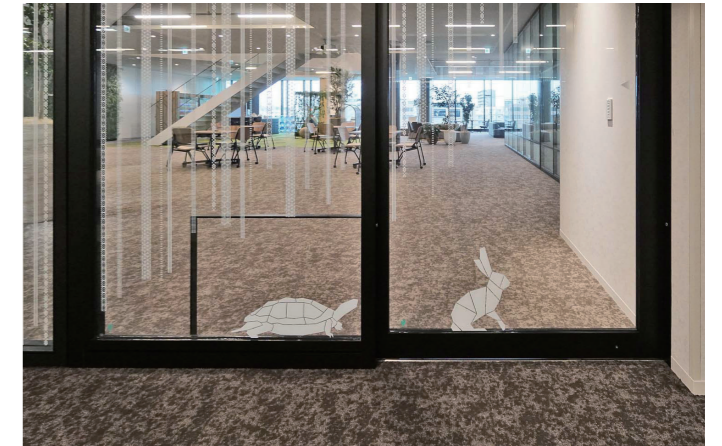
1F ショールーム

近未来的な雰囲気の1Fショールーム。お客様にわかりやすく、労働力不足に対応する技術を紹介できるように多くの工業用ロボットを展示するなど、さまざまな実物のデモンストレーションが行える場を設けている。



3F コミュニケーションエリア

3Fのコミュニケーションエリア「ネイチャーリビング」のコンセプトは、「リビングのように社員が自然と集まり、多くの会話が生まれる場所」。緑や自然のモチーフを多用し、視覚的にもリラックスできる。



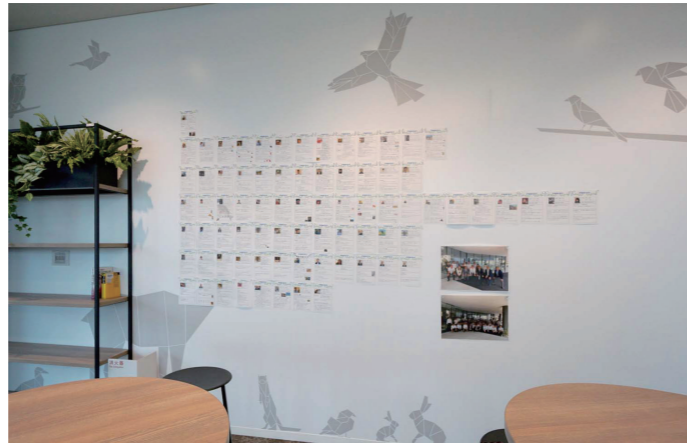
3F コミュニケーションエリア

コミュニケーションエリアの入口ガラスには、博多織をイメージしたさまざまな織柄や、福岡県に生息している動物をモチーフとしたイラストがあしらわれ、愛着が持てる和み空間へと誘っている。



3F コミュニケーションエリア

窓を大きくとり、四季折々の変化が感じられる開放感たっぷりの空間。インテリアは「Nature Living」をコンセプトに、落ち着いたアースカラーを基調とした居心地のよい、温かみのある設えとしている。



3F コミュニケーションエリア

部門の垣根を越えてワーカー同士のコミュニケーションが活性化されるよう、壁面に趣味や飼育しているペットの情報などを記載した自己紹介カードを掲示。自然と交流が生まれるよう工夫されている。



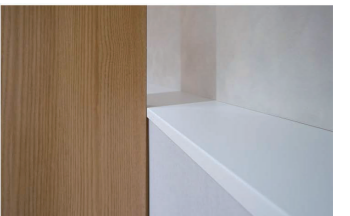
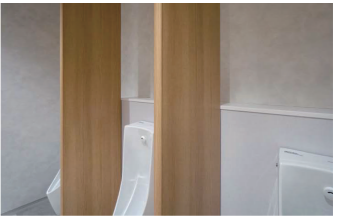
3F 男性トイレ 洗面コーナー

木目調をアクセントとした、落ち着いた印象の洗面コーナー。非接触で使用できる自動水栓と自動水石けん供給栓を採用し衛生面に配慮。さらに、電気温水器も設置され、お湯が使える快適な仕様としている。



3F 男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、床の清掃性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を採用。男性社員からの要望に応え、落ち着いて使用できるよう、小便器の間には間仕切りを天井まで設け、プライバシーに配慮している。



3F 男性トイレ 大便器コーナー

大便器は節水効果の優れたパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式、便座は電源不要なエコリモコンを搭載したウォッシュレットPSを選定。ブース壁を天井まで立上げ、個室感を高めている。



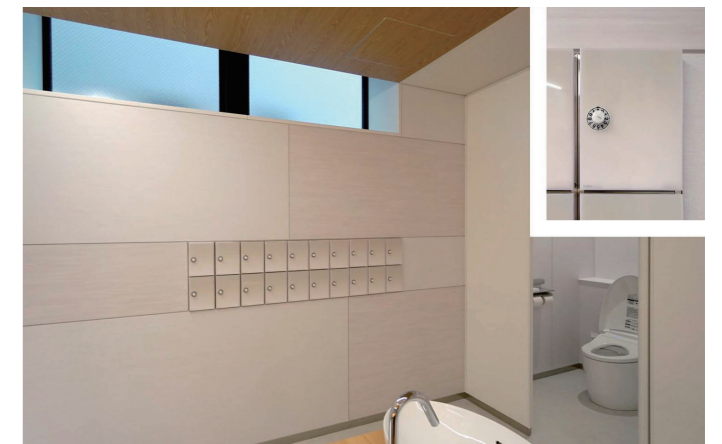
3F 女性トイレ 洗面・スタイリングコーナー

女性ワーカーの要望により採用された、アイランド型の洗面コーナー。スタイリングコーナーは、並んで利用できるよう一面鏡を設置。副次的効果として、ワーカー同士のコミュニケーションが生まれる場にもなっている。



3F 女性トイレ 大便器ブース

大便器は、柔らかなアールを描くコンパクトなボディが、空間にやさしく納まるネオレストRSを採用。ストッキングなどの着替えに配慮し、フィッティングボードを設置している。



3F 女性トイレ 小物入れ

女性ワーカーへの細やかな配慮として、化粧ポーチなどを収納できる埋め込みタイプの小物入れを壁面に設置。利便性やプライバシーを考慮し、個別タイプのダイヤル式としている。



末松九機株式会社 本社



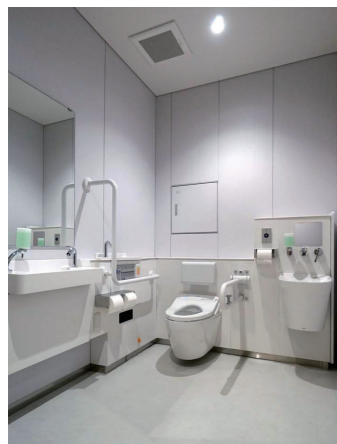
5F ラウンジ

明るく開放感のある5Fに設けられたラウンジには、オープンパントリーも完備。イベントやミーティングなどが行われる際にも、飲食を楽しむことができ、部署を越えた交流も生まれる場となっている。



5F 男性トイレ 全体

小便器の間仕切りは、ライニング部分の清掃性にこだわった納まりとしている。足元には、尿の飛散によるにおいや汚れを軽減するハイドロセラ・フロアPUを設置している。

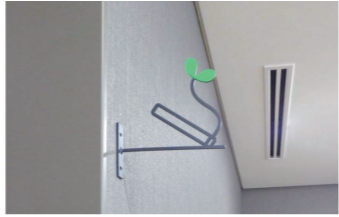


バリアフリートイレ

多様なワーカーや来客を想定し、全フロアに配置されたバリアフリートイレには、着替え用のフィッティングボードも設置。さらに、各所に呼出ボタンを設け、体調不良時などに呼び出しできるように配慮している。



5F 喫煙スペース

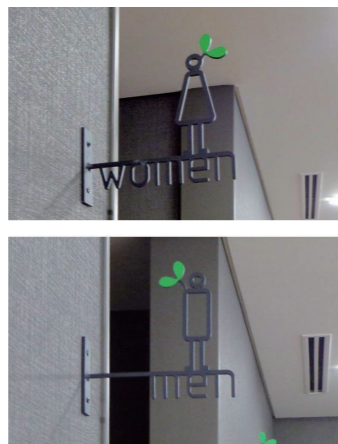


喫煙スペースも設けられており、入口には、タバコのデザインが施された突き出しサインを掲示。一服の休息時に、ワーカー同士のコミュニケーションを図るとともに、居心地のよいスペースを提供している。

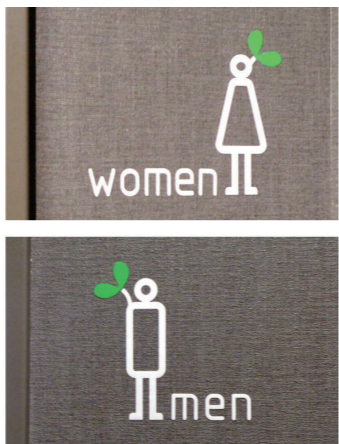


5F 女性トイレ 大便器ブース

5Fラウンジのトイレの大便器は、ローシールドデザインのパブリック向け ウォシュレット一体形便器と、押すたびに発電し電源不要なエコリモコンを採用。体調不良などに配慮して、L型手すりを設置している。



トイレサイン



ウェルネスを意識した、遊び心のある愛らしいオリジナルサイン。「アイデアが芽吹きひらめきが生まれやすいように」との思いが込められている。



5F 屋上テラス

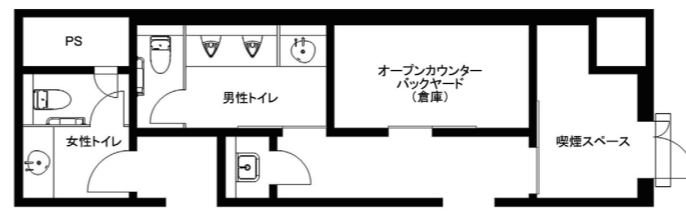


屋上には広々としたテラスが設置され、休憩やリフレッシュができる。また、環境への配慮として設置した太陽光パネルは、「目に見える」環境対策として、従業員の環境意識や節電への関心を高める効果も期待されている。



3F トイレ図面

執務エリアだけではなく、トイレにも居心地のよさを求めた空間づくりとし、女性トイレは広めのブースとスタイリングコーナーを設置。洗面コーナーはアイランド型とし、回遊できるレイアウトとなっている。



5F トイレ図面

ラウンジやVIPルームのある5Fトイレは、トイレ入口に前室を設け、通路よりトイレ内が直接見えないよう視線配慮がされている。

水まわりの特長

建物の特徴

1914(大正3)年に創業した「末松九機株式会社(現:安川メカトロック末松九機株式会社)」は、福岡市博多区に本社を置く、エンジニアリング機能を持つ技術商社。2018(平成30)年より安川グループとなった。このたび、築30年を経過した自社ビルの老朽化に伴い、本社ビルを移転。新社屋のコンセプトは、人・環境・ビジネスが調和する「リビング・オフィス」。3Fのコミュニケーションエリアや屋上テラスは、人が集まることで価値を生み出し、部門の垣根を超えた交流と新たな閃きを生むリフレッシュ空間となっている。さらに、九州でも事例の少ないNearlyZEBを達成。省エネ機器や再生可能エネルギーの活用により、使用エネルギー削減とCO2排出削減に寄与した、先進的環境オフィスビルが完成した。

水まわりの特長

新社屋の水まわりを構築する上で、働く人のウェルネスを重要視し、ワーキンググループを結成。老若男女、社長や役員も含めたワーキングメンバーが集まり検討を重ねた。特に、女性トイレは商業施設を想起させるアイランド型の洗面コーナーを計画し、コミュニケーションが育まれる空間となっている。さらに大便器は、意匠性にこだわったウォシュレット一体形便器ネオレストRSなどを採用。また、男性からは小便器の間仕切り設置の要望があり、天井まで立ち上げている。器具検討にあたっては、TOTOテクニカルセンター福岡にて見学会を実施し、納得のいく器具や空間の納まりを検証。「リビング・オフィス」のコンセプトを体現し、自宅と同じような居心地のよさを追求し、環境にも配慮した水まわりとなっている。

建築概要

名称	末松九機株式会社 本社 (現:安川メカトロック末松九機株式会社)
所在地	福岡県福岡市博多区東那珂1-14-20
施主	末松九機株式会社
設計	清水建設株式会社 九州支店 一級建築士事務所
施工	清水建設株式会社 九州支店
竣工年月	2023年9月
敷地面積	3,270.63㎡
建築面積	1,345.66㎡
延床面積	4,988.35㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上5階

おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497BP
- ウォシュレット一体形便器 ネオレストRS:CES9520PW
- パブリック向けウォシュレット一体形便器:CES9251
- ウォシュレットPS (擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5534AU
- 棚付二連紙巻器:YH700AD、YH701
- 自動洗浄小便器:UFS900JCS
- 洗面器:LS903
- 手洗器:LS901
- 台付自動水栓:TLE26SM1W
- 自動水石けん供給栓:TLK07S04JA、TLK07S08JA
- 電気温水器:REWF03B1系
- コンパクト・バリアフリートイレバック:UADAK21L1A1ADD2WA
- フィッティングボード:YKA41R
- パブリック用手すり:T112CL10